

2023年秋冬号

想 い

OMOI



婦人公論連携企画 ●特別インタビュー

榊原郁恵さん (タレント)

「渡辺 徹さんを偲んで」

人と人の縁を大事にしていた
徹さんらしいお別れの会に
なりました

神棚・神式特集

- 抽選で豪華賞品が当たるプレゼント
- 東三河地域のお店のご紹介 (特典付)



昭和23年創業 お仏壇のたなか
(株) **田中仏具店** グループ

1世帯1冊のお届けになることをご了承ください

祖霊と年中行事

日本にはたくさんの年中行事がありますが

その中でも祖先の霊を親しくおまつりする特別な日が少なくありません。

“盆と正月が一緒にきたようだ”とは、嬉しい事が重なった時などに使いますが

祖先の霊との交流が叶う日だからこそ、特別な日として大切にされてきたそうです。

～お正月～

新しい年を祝う正月は、日本人にとって最も身近な年中行事です。

お正月も古くは、祖先の霊を迎えてまつる行事でした。

お正月には各家庭で門松を飾り、鏡餅を用意しますが

この門松は、祖先の霊とも考えられている年神さまが寄り付く場所(依り代)として飾られたものです。

また、鏡餅はもともと年神さまに供えるお供え餅のことを言い

このお供え餅をその他の供え物と一緒に煮たものが雑煮です。

年の初めに訪れる「年神さま」は、一年の幸をもたらしてくれると信じられ、お正月はこのほか大切な行事でした。

～年神さま～

年神さまは稲霊いなだまとも言われていますが、それは日本人と稲との深いつながりがあるからです。

稲は枯れてしまっても**初はつ**に新しい生命を宿し、それがやがて芽をふいて穂をもたらせてくれます。

日本人は、**年も稲と同じように、一年一年新しく生まれ変わると考えてきたのです。**

年(稲の穂ほとし)が生まれ変わるといふことは

生命のつながりを確認することでもあり、日本人にとって大変におめでたいことだったのです。 〓氏子のしおり〓より

神様・仏様・自然界・動物・植物

目には見えない、話し伝えることの出来ない存在(命)を私たちが理解して想いを組みとってあげれたら
きっと笑顔に包まれた幸せな日々が続くのではないでしょうか。

一人でも多くの方が穏やかに新しい年をお迎えされますように…会報誌より想いを込めて。



株式会社 田中仏具店
代表取締役社長 田中己喜みき



神棚・御霊舎のまつり方



神棚

※御霊舎より高い位置

～神棚の位置～

居間等の南向き・東向きの清らかで
明るく静かな高いところ。
大人が見上げる位の高さにおまつりします。

～お札のまつり方～

神座の順位

中央を最上位とし、次は向かって右、
最後に左となります。

三社(扉が三枚)の場合

- ①中央に神宮大麻(天照皇大神宮…皇室祖神として伊勢神宮にまつられている神様)のお札をおまつります。
- ②向かって右に氏神さま
氏神さま…ご自身がお住いの地域の神社(氏神社)
- ③向かって左に崇敬する神社
崇敬神社…地縁・血縁関係以外の個人が特別に信仰される神社



一社(扉が一枚)の場合

一番手前に①神宮大麻、その後ろに②氏神さまのお札、
③崇敬する神社のお札を重ねておまつります。

- ① 神宮大麻
(天照皇大神宮)
- ② 氏神さまのお札
- ③ 崇敬する神社のお札



御霊舎

※神棚より低い位置

祖先のおまつりは、 神棚とは別に御霊舎で行います。

これは仏式でいう仏壇にあたるものです。
祖先の霊が鎮まる霊璽を納めるところです。

御霊舎は神棚とは別の場所に設けますが、間取りなどの関係で神棚の下や隣に設けることもあります。

(なるべく真下は避ける)

隣に設ける場合は御霊舎の位置を低くしてください。

神殿の調度品と名称



毎日のおまつりは神棚同様、お米・お塩・お水になります。
毎年の命日・式年祭の時は三宝の数を増やして
酒・餅・魚・海鮮・野菜・季節の物・故人様が好む物
をお供えしてください。

※神具の飾り方、三宝の数などは
宮司様によって異なります。

①真榊(マサカキ)

太古、天の石窟での"五百津真賢木"の故事に淵源し、
後に景行紀・仲哀紀に記載する神夏磯媛や五十迹の忠実に基づく。
近く明治天皇の即位礼に則り明治八年神社祭式に社頭の装飾として
創定されたもの。三種の神器である鏡・勾玉・剣が掛けられています。
祭壇の向かって右側に鏡と勾玉、五色絹・左に剣と五色絹を飾る。



三種の神器 歴代の天皇に伝わる皇位を示す3種類の宝物

- ①鏡(八咫鏡 やたのかかみ) 伊勢神宮にまつられています。
- ②剣(草薙剣 くさなぎのつるぎ) 熱田神宮にまつられています。
- ③勾玉(八咫瓊勾玉 やさかにのまがたま) 皇居に安置されています。

②燈籠(トウロウ)

灯火をともし用具。

素木で主として殿上用である。一対で飾ります。
灯火は神域を表し、魔除けの意味があると考えられています。



③神鏡(シンキョウ)

御霊舎に置く場合…御神体・神さまが宿る御霊代として必要です。

神棚に置く場合…荘厳な雰囲気を保つための飾り。

鏡を通して自分を見つめ襟を正す機会を与える。
(拝礼の際、清らかな心で神さまをお迎え出来ているのか、
己を振り返る役目があると言われています。)



④榊立(サカキタテ)

神さまにお供えする榊を入れる器。

左右一対で飾ります。榊の先端に神さまが宿ると考えられています。
常にみずみずしい状態を保てるように**毎日水替え**をします。

※榊は枯れてしまう前に1日・15日のタイミングで
新しい榊に取り換えしていただけると良いです。



⑤かがり火

肥前風土記に"燎火"^{りょうび}とあり、万葉集には"可我里"^{かがり}とあり、古くから夜間の公事・神事・警固・漁獵など屋内外の照明に用いられていましたが、現在では神事など伝統行事にかかせないものとなっております。また、神社ではかがり火を焚くことで無病息災を祈願しています。



⑥三宝(サンボウ)

胴の三方に眼象^{がんしやう}と呼ばれる宝珠形の穴を削ったところから付けられた台。神事に用いられ、主として神饌をのせて使用します。

手前に縁の継ぎ目・綴じ目を向けて飾ります。



⑦水玉(ミスタマ)

古くは"盥"^{もひ}・"椀"^{まり}と称し、古くから水を盛るのに使用されました。

神さまにお水をお供えするための土器。

お供えの時は蓋を右に倒しましょう。

(蓋を閉じたままでは下げているのと同じです。)

お水は毎日取り換えますが、お下がりには下水に流さず、植物に与えるなど命を繋ぐ形が望ましいです。



⑧平次(ハイジ)

神前には一対で三宝の上にのせてお供えします。お神酒を入れます(清酒が望ましいです。)



お供えの時は蓋を外します。

⑨ヌリ皿

古くより饌(米・塩)を盛る器として用いられました。

向かって右にお塩・左に洗米をお供えします。

1日・15日に取り換えます。神さまのお下ごりは食して頂くのが理想です。



～日々のおまつり～

神さまにお供えするものを「神饌」^{しんせん}といいます。

神さまには毎日、朝食前に洗米・お塩・水をお供えします。

三宝か折敷にのせて、中央に洗米・向かって右に塩・向かって左に水。櫛の水も毎日取り換えます。



～お参りの作法～ 神社にお参りする時と同様。二拝二拍手一拝というのが基本です。

まず神前に進んで軽く頭を下げてから二拝(深くお辞儀をする)し、次に拍手を二度、次に一拝します。神前を退く時には、また軽く頭を下げます。一家の主人が、毎朝顔を洗い・口を漱いで・心身共に清めた後、お供物を供え厳かに拝するのが良いでしょう。

神葬祭に参列した場合のお参りの仕方

熨斗袋の包み方

白黒の水引を選び**蓮の絵の印刷が無いもの**を選びましょう。

※ハスは仏式に使われます。

表書きは“玉串料”あるいは“御霊前”と書きます。

包みの裏のたたみは、弔事では上の折返しを上にかぶせて目を伏せた悲しみの状態を表します。

※年祭に参列する場合の包みも“玉串料”と書きます。



表書



裏の上下のたたみ方

忍び手

神前と同様に二拝二拍手一拝でお参りすることに
変わりはありませんが神葬祭での拝礼は、亡くなられた方を

偲び慎む心を表すといった意味から

音を立てずに拍手します。

これを忍び手と言います。

また、忍び手でお参りする期間は地方によって

違いがあるようですがこの頃は五十日祭が終わるまでは

忍び手でお参りするところが多いようです。



静かに二回手を合わせます(音を立てない様に)
※神式ではお念珠は不要です(お念珠は仏式の法具です)

神葬祭の流れ

神葬祭とは神道式で行う葬儀の名称

日本固有の葬儀を土台に整えられた葬儀式です。

帰幽奉告(キユウホウコク)

神葬祭は、氏神さまに故人が亡くなった旨を奉告することから始まります。

家庭では神棚の前面に白い紙(半紙)を貼ります。

これは、**遺族が故人のおまつりに専念するため**です。

通夜祭・遷霊祭(センレイサイ)

家族や生前親しかった者が集まり、夜通し故人を偲びます。

本来、通夜は**故人の蘇りを祈るもの**でした。

通常、私たちが食している物(常饌)や生前の好物をお供えするのも、こうした意味からです。

古くは、霊と肉体が分離した状態が死であり、もし霊がご遺体に戻れば故人は生き返ると考えられていました。
かつて、酒宴などを設ける地方があったのも、故人とともに食事をとることで霊を遺体に引き戻そうとしたからです。

葬場祭(ソウジョウサイ) ※告別式

最後のお別れをするおまつりです。

故人のために装飾された祭壇にお供え物を上げ、斎主による祭詞の奏上と祭員による誂歌が捧げられます。

祭詞には、故人の経歴、功績、人柄をたたえ、今後は祖霊となって**遺族を見守ってくださるよう**にとの
祈りが込められます。

誂歌には故人を追慕し、御霊を慰め、会葬者の心を鎮めるなどの意味があります。

なお、弔辞、弔電などもこの時に読み上げ、生前を偲びます。

最後に、会葬者が一人一人玉串拝礼をして、故人に別れを告げます。



神棚の前面に
白い紙(半紙)を
貼ります

シノビウタ



↑伊知多神社(いちだじんじや)／豊川市市田町宮田9番地

祭神／須佐之男命・天乃児屋根命
すさのおのみこと あめのこやねのみこと

～参拝者のエピソード～

豊川市民病院の入院病棟9階から北に目を向けると伊知多神社の社殿が見えるそうです。入院中、病室から社殿を見つけ、その社殿に向かって毎日、手を合わせていました。お陰様で退院の運びとなり、その感謝を伝えるために、社殿を探したところ伊知多神社を見つけたそうです。目には見えない想いが神様に伝わっているような不思議なお話でした。



↑しだれ桜 4月上旬見頃です。



↑伊知多神社の手前に流れる“白川”
身体を清めて参拝する作法“禊”が行われていたと推測されます。
みそぎ



↑進雄神社(すさのおじんじや)／豊川市当古町西新井66番地

祭神／須佐之男尊・奇稲田姫命・五男三女神命
くしなだひめのみこと 奇はんさんによしんのみこと

嘉承元年(1106)疫病が流行したため、住民が京都祇園社の分霊を請け祀り、当古天皇と称したことが始まり。

奇稲田姫命(須佐之男命の妻)…稲田の神・農業、衣食住守護の神徳。(縁結び・玉の輿のご利益)

五男三女神命…天照皇大神の子(5柱の男神)と、須佐之男の子(3柱の女神)の8柱の総称。
奇はんさんによしんのみこと

神事の一つ一つを丁寧に教えて下さる上島宮司。
神様のお住まいになる祠のお扉を開くと、ギギギイイと音が鳴ります。
油をささないといけないかななんて思っていました。
上島宮司が一言
「素晴らしい」
神様に、お姿を拝見させていただきますの
挨拶として本来鳴るべき音、
宮大工さんの伝統技法(ギリド)が
施された素晴らしい造りだと…。
良い祠の証を教えてくださいました。

宮司紹介

伊知多神社



宮司 上島 一郎

伊知多神社

☎ 442-0862
豊川市市田町宮田9番地

他にも犬頭神社・上千両神社・
菅原神社・素盞鳴神社・進雄神社
計6社の神社を兼務されています。



↑神様がお住まいになる祠
ほこら



↑菅原神社(すがわらじんじや)
豊川市野口町長万30番地の1

すがわらのみちざね
祭神／菅原道真

幼少期より勉学に励み、弓の技術も優れ、文武両道の平安時代の貴族。学問の神様と崇められている。

←菅原神社梅林／2月中旬以降見頃

子供の頃からの梅が好きだったことから菅原神社には沢山の梅が植えられています。



↑素盞鳴神社(すさのおじんじや)

豊川市牧野町横町壱番地

すさのおのみこと
祭神／素盞鳴命

弊社の氏神さまとして毎月1日・15日にご挨拶させていただいております。

(1日・15日・大祭時のみ扉が開放され本殿を拝見出来ます)

我が家だけかもしれませんが…祖母は探し物が見つからなくて困った時に「素盞鳴神社さんをお願いして来ようかなあ」なんて言いながら、参拝に出かけたことを思い出します。祖母が他界した今でも、探し物を見つけない時は、素盞鳴神社さんにお参りさせていただいております。当然ですが、見つかった時はお礼申し上げます。



↑本殿の裏手には“二宮社・稲荷社・城稲荷社・伊雑社・中条社”がまつられており、**失せ物探し**の願掛けを聞いてくださるそうです。神様のお使い、おきつねさまも飾られています。



↑上千両神社(かみちぎりじんじや)

豊川市千両町開津田85番

すさのおのみこと
祭神／素盞鳴命、藤原定家、同為久、同為草ら
近衛卿の崇敬

←百度石／百度参りの基点となる石
百度参り…同じ神社に百回お参りすることで祈願を願う作法。



↑犬を埋めた跡に植えた桑の木に蚕がまゆを鈴なりにつけ、美しい糸が限りなく取れたことからご神木としてまつられています。



↑犬頭神社(けんとうじんじや)

豊川市千両町糸宅107

うけもちだいじん
祭神／保食大神 農作物・蚕と関わり深い神

～犬頭神社ご神木“桑の木”の由来～ 犬頭の糸

むかし、千両の村に役人がいました。

妻に蚕を飼わせていましたが、どうしたことか蚕がみな死んでしまいました。

腹を立てた役人は家を出てしまい、妻は貧しく寂しい日々を送ることになってしまいました。ある日、桑の葉を食べている一匹の蚕を見つけ大事に育てていましたが、飼い犬が蚕を食べてしまいました。驚き悲しんでいると、犬の鼻の穴から白い糸が出てきたので、これを引っ張ると糸はどんどん出て、4000から5000両ほど棒に巻き取ったところで犬は死んでしまいました。妻の家の前を通りかかった役人は雪のように白く光沢のある糸がたくさんあるのを目にしました。妻からこの話を聞いた役人は自分の薄情を恥じて妻の元に留まるようになりました。その後、犬を埋めた跡に植えた桑の木に蚕が鈴なりにまゆを作り、美しい糸が限りなくとれました。それ以来三河国は犬頭糸を蔵人所に納め、天皇の衣類を織るのに使われるようになったと云われます。

＝とよかわのむかしばなし＝より



宮司紹介

榊山 東田神明宮

あづましんめいこう
東田神明宮は古くから榊山さかきやまと呼ばれておりました。
榊は古代より栄える木、縁起の良い木、として大変重宝されて参りました。
三百年、五百年を経たる木々の中に、真榊まざかきは群生し、往古の威風を示しています。
栄える木の多い山を、新鮮な木、榊山と称えて、
伊勢神宮の大神様の御分霊の御鎮座がなされたのは延喜二年（西暦九百二年）。
今から千百二十一年前になるそうです。（令和五年現在）



↑ 本殿(ほんでん)・猿田彦社(さるたひこしゃ)

あまてらすおおみかみ さるたひこのかみ

天照皇大神・猿田毘古神がまつられています。

～天照皇大神～ 天皇の祖神、太陽神として国に平和と豊かさを与える神様。

～猿田毘古神～ 天照皇大神の子孫を高千穂へ導いたことから道開きの神様といわれ、学業や仕事をいい方向へと導くと言われています。



宮司 今泉 英文

榊山 東田神明宮

住 〒440-0069

愛知県豊橋市御園町六番地の十六

☎ 0532-53-3392

社務所受付 AM8:30～PM16:30

御祈祷受付 AM9:00～PM16:00



↑ 秋葉社(あきばしゃ)

ほむすびのかみ

火産霊神がまつられています。

～火産霊神～

火を統御し、管理する神様。台所に秋葉社のお札をおまつりするのは火事を起さない様に守ってくれるため。



↑ 古札納所

古いお札、お守りなどを納める所お札は1年で納めるものです。長期間、飾ったままの方は納めることをお勧めします。東田神明宮では年に3回、今までお世話になったお札・お守りをしっかりお焚き上げて、御霊が元の社に帰って頂く神送りの神事をさせていただきます。(10月第3月曜日・12月大晦日・1月第2日曜日)斎行



↑ 月替わり限定の御朱印

田中仏具店グループに届けられた 会員様の声



K様 豊川市【本店】

毎回興味深く拝読させて頂いております。

盆飾りの手順については順を追って端的に写真入りで説明され、とても分かりやすかったです。
核家族化が進み親から子への伝承が難しい昨今、こうした丁寧な解説は貴重で大変有難いと思います。

盆飾りも地域・宗派によって特色があり、
日本各地の風土文化が多種多様であることを改めて感じ入る次第です。

貴社の「想い」がこもった、この素晴らしい冊子「想い」が
末永く刊行されることを心より切望致しております。

O様 豊川市【八幡会員】

平成24年主人の葬儀の時には大変お世話になりました。11年過ぎた今でも私や娘のことを覚えていて下さり、感激しております。お名前ははっきりとわからないのですが、いつも親切にして頂いております。すばらしい社員さんです。

A様 豊橋市【岩田会員】

岩田エコー会館にて母の家族葬を営まさせて頂きました。祭壇にはお花があふれる程あり立派でした。故人の思い出も紹介して頂き十二分に偲ぶことが出来ました。ありがとうございました。

I様 豊川市【本店】

13年ほど前にご縁のあった都築様をお願いして仏壇を購入させて頂きました。
その後、夫、夫の弟を見送りました。初めての事も多かったので、色々お世話になりました。
ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

A様 豊川市【本店】

昨年末に亡くなった父が田中仏具店さんをよく利用しておりましたので、私も利用させて頂いてます。
他の方の感想にもあるように、対応が丁寧で感じが良いです。これからもよろしくお願いします。

S様 豊川市【本店】

三遊亭小遊三さんの特別インタビュー円楽さんの人柄がよくわかり、
また仲が良かった様子が目に浮かびました。
私は線香を購入するためにお店に伺いますが、いつも丁寧に駐車場まで見送って頂き感激しています。

K様 豊川市【八幡会員】

供膳の並べ方、入れる椀で悩みますが、わかりやすく説明してあり参考になります。
お盆供養のおはなし、お彼岸供養のおはなしお参りをする気持ちをあらためて確認しました。
六地藏さん、お供えとお参り大事ですね。

M様 湖西市【湖西会員】

母の葬儀では丁寧に対応していただき、ありがとうございました。
今度初盆を迎えますが、会報誌の内容が大変参考になりました。

T様 豊川市【本店】

「お盆、お彼岸の供養のおはなし」ただお参りをしていただけで、深く考えていなかったですが、
気持ちをあらためて、供養の意味を思い手を合わせたいと。まずお盆から実行してみます。

H様 湖西市【岩田会員】

湖西エコーで寄せ植えを楽しくやらせて頂きました。
スタッフのスムーズな進行にステキな寄せ植えが完成出来ました。
お霊供膳に宗派による違いがあるのを知りました。いつも勉強させていただきありがとうございます。

O様 豊川市【本店】

会報の中に「蓮華の五徳」の事が書かれており、
今まで「なぜ仏教にハス？」と思っていた疑問が解決しました。
このように会報には役に立つ情報があってうれしいです。

S様 新城市【本店】

我が家は臨済宗です。私が初めて霊供膳を作った時、購入した霊供膳についていた
説明書通りに作ったのですが、法要に見えた住職さんが間違いを直してくださいました。
今回の盆飾りの特集号の記事を拝読して、どの様に違うのかわかりました。
少し嬉しくなりました。ありがとうございました。

T様 豊川市【八幡会員】

10年近く前に主人が突然死で亡くなり、その時から八幡エコー会館でお世話になり、
今でも会えば笑顔で挨拶して頂きます。先日も花の寄せ植えに参加させていただき、
笑顔のふれあいをさせていただきました。いつもありがとうございます。

I様 豊橋市【岩田会員】

知らないことばかりでとても参考になる記事ばかりでした。
つい先日も岩田エコー会館へ見学に行き、親切丁寧にとてもスタッフの皆様感じよかったです。
ぜひ利用したいです。

次ページにも掲載していますのでご覧ください

I様 豊橋市【岩田会員】

先日は大変お世話になりました。おりん(たまゆらりん)がとても気に入り、音に癒されております。
社長の田中さんをはじめ、スタッフの皆さんには感謝いたします。
本当にありがとうございました。

K様 豊橋市【本店】

昨年母が亡くなり仏壇、墓石、初盆の準備等々ですずや店の西川さんにお世話になりました。
仏壇墓石提灯などの知識のすごさに驚きました。
会報誌に初盆のことが書かれていてとても助かりました。これからも良い商品などありましたら、
会報誌に載せていってください。(スタッフさん親切ていねいですね)

S様 豊川市【本店】

先日主人の三回忌法要の前に念珠が切れてしまいました。
法要の日に間に合うように直して頂いてありがとうございました。
これからも何かあった時はよろしくお願いいたします。

T様 豊川市【本店】

母、義母と相次いで亡くなり、両家とも田中仏具さんでお世話になっています。
供養のマナーはわからないことばかりでいつも教えて頂き仏具店様には感謝しかありません。

S様 新城市【本店】

何もわからずお世話になりました。
主人がなくなり毎日仏壇に手を。あれからもう6か月になり私も少し元気を取りもどしました。
蓮華の五徳、心を強く打ちました。ありがとうございます。



お客様へ

前回の春夏号、お盆飾り特集でも多くの激励のお言葉を頂戴し誠にありがとうございました。
盆小物に関しては牛馬インテリアが可愛いのですが、来年も使用していいのでしょうか?と問い合わせがありました。本来、盆小物はすべて納める(お精霊様がお持ち帰りになる)のが望ましいです。時代とともに安易に川に流すことも出来なくなりましたのでお塩で清めていただき市の回収(可燃・不燃)に出す運びとなります。(提灯納めの会場で納めることも可能です。ガラス製品等はご確認ください。)
また、毎年、お初盆を迎えるご家庭の方が多くいらっしゃいます。一人でも多くの方にお盆の内容をお伝えしたく春夏号の内容も"お盆特集"になってしまう事をご理解下さい。「しっかりご供養してあげたくてもやり方が分からない。」「聞きたくても忙しくて時間がない。」「そんな時にお役に立てていただければと思います会報誌を発行させていただいております。お作法はお寺様によって異なりますのでまずはお寺様にお尋ねくださいませ。



Instagramでの
当選者発表の様子

激励のお言葉と共に、相談事も多数寄せられております。お客様のご希望に添える様、出来る限りお答えしていきたいと思っておりますので今回も遠慮なく投函してください!!
お待ちしております!!(^ ^)!

 [tanaka_butugu](https://www.instagram.com/tanaka_butugu)



↑ 当社に届けられた会員様の声